科目ナンバリング	U-LAS14 20077 LJ68						
授業科目名 <英訳>	動物自然史 Natural History of Animals			担当者所属 職名・氏名	地球環境学舎 教授　　西川　完途		
群	自然科学科目群			分野(分類)	生物学(各論)	使用言語	日本語
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2026・前期	曜時限	金1	配当学年	主として1・2回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

脊椎動物を題材として自然界に存在する動物の多様性の実態を紹介し、その意義を理解することを目的とする。

[到達目標]

脊椎動物の多様性の実態、進化史について理解して、その意義を理解する。

[授業計画と内容]

以下の項目について授業をする予定である。
- 第１回：イントロダクション
- 第２回：生命の起源と進化
- 第３回：系統分類学の基礎
- 第４回：無顎類
- 第５回：軟骨魚類
- 第６回：硬骨魚類１（条鰭類１）
- 第７回：硬骨魚類２（条鰭類２）
- 第８回：硬骨魚類３（肉鰭類）
- 第９回：両生類１（系統と進化）
- 第10回：両生類２（多様性と自然史）
- 第11回：爬虫類１（系統と進化）
- 第12回：爬虫類２（多様性と自然史）
- 第13回：鳥類
- 第14回：哺乳類
- 第15回：フィードバック

[履修要件]

・高校で生物を履修しなかった者、文科系学生にも理解できる内容なので、履修要件はとくにない。ただし、講義に関連したテーマを扱う生物学実習Iや同IIの履修も、理解を深める上で役に立つので推奨する。

・令和7年度までに「動物自然史II」を受講して単位を取得していた学生は令和8年度以降に本科目「動物自然史」の受講は認める。

・令和7年度までに「動物自然史I」を受講して単位を取得していた学生が令和8年度以降に本科目「動物自然史」の受講は認めない。

動物自然史(2)へ続く↓↓↓

動物自然史(2)

[成績評価の方法・観点]

平常点（授業への参加と参加状況）とレポート試験の結果による。その評価方法や比率などは初回授業にて説明する。

[教科書]

使用しない
プリントを配布する。カラーサインペンがあるとメモに便利。

[参考書等]

（参考書）
松井正文『脊椎動物の多様性と系統』（裳華房）
コルバート『脊椎動物の進化』（築地書館）ISBN:978-4806712954

[授業外学修（予習・復習）等]

授業前には授業内容の動物群や分類群の概要を調べ学習しておき、授業後は授業の要点を整理して復習することが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワーは設けない。相談や質問がある際には、メールで事前にアポイントをとることが望ましい。

[主要授業科目（学部・学科名）]